

111 おくのほそ道をよむ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	水	俳諧と芭蕉	富山高等専門学校 名誉教授 高熊哲也
2	6・3	水	序章 草の戸も住替る代ぞひなの家 旅立 行春や鳥啼魚の目は泪	
3	6・17	水	日光 あらたうと青葉若葉の日の光 白川の関 卯の花をかざしに関の晴着かな(曾良)	
4	7・1	水	平泉 夏草や兵どもが夢の跡 卯の花に兼房みゆる白毛かな(曾良) 五月雨の降り残してや光堂	
5	7・15	水	立石寺 閑さや岩にしみ入蟬の声 最上川 五月雨をあつめて早し最上川	
6	9・9	水	象瀉 象瀉や雨に西施がねぶの花	
7	9・30	水	一(市)振 一家に遊女もねたり萩と月	
8	10・14	水	那古の浦 わせの香や分入右は有磯海 金沢 塚も動け我泣声は秋の風	
9	10・28	水	小松 むざんやな甲の下のきりぎりす 那谷 石山の石より白し秋の風 山中 山中や菊はたおらぬ湯の匂	
10	11・11	水	大垣 蛤のふたみにわかれ行秋ぞ	

112 漢詩漢文の世界へ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・24	金	I 漢文の読み方・句法	県立富山高等学校 元副校長 高倉知成
2	5・22	金	II 漢詩(1) 自然・四季	
3	6・5	金	II 漢詩(2) 情愛・無情	
4	6・19	金	II 漢詩(3) 憂愁・自適	
5	7・3	金	II 漢詩(4) 日本の漢詩	
6	8・28	金	III 語録・名言	
7	9・11	金	IV 故事・寓話	
8	9・25	金	V 思想(1) 諸子百家	
9	10・16	金	V 思想(2) 論語	
10	11・13	金	V 思想(3) 論語	